

# ボランティア通信

大崎市ボランティアセンター  
2019.2

## 「平成30年7月豪雨」、「山形県大雨」災害支援 広島県広島市・愛媛県宇和島市(職員派遣)／山形県戸沢村(資機材提供)

昨年7月に発生した「平成30年7月豪雨」において、本会では広島県広島市及び愛媛県宇和島市で開設された災害ボランティアセンター(以下「災害VC」)に対して、災害VCの運営支援をさせていただきました。

広島市に対しては、全国の社会福祉協議会のうち「北海道・東北ブロック」に属する本会では、災害時の相互支援協定に依り宮城県社会福祉協議会からの依頼に基づき、広島市安芸区災害VCへの運営支援、宇和島市に対しては、大崎市(旧岩出山町)と姉妹都市となっていることから、大崎市を通じて宇和島市社会福祉協議会からの依頼に基づき、宇和島市災害VCへの運営支援として、いずれも本会より職員延べ7名の派遣を行っております。

派遣された職員は災害VCでの活動に従事し、全国から駆けつけていただいたボランティアさんの受付などの対応のほか、被災住民に対するニーズ調査を実施いたしました。ニーズ調査では、現地社協の職員さんとともに被災地のお宅一軒一軒をまわり、被災状況や健康状態、今後の不安などをお聞きしながら、災害VCのチラシをお渡しし、ボランティアがお手伝いできることがあるのか、困りごとはないかなど確認させていただきました。

またこの他にも、「平成30年8月30日からの大雨」では隣県の山形県において戸沢村が水害に見舞われたことを受け、宮城県社会福祉協議会からの依頼に基づき、本会が管理する防災ストックヤード(大崎市古川宮沢)より、災害用資機材の提供を行わせていただき、戸沢村災害VCにおいてボランティア活動に役立てていただきました。

昨年は地震や台風など多くの自然災害と直面した年でもありましたが、被災された方々にとって本年がよい年となりますよう、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



被害の様子(広島市安芸区)



現地調査活動の様子(宇和島市)

## 「災害VC派遣を振り返って」

本所総務企画課 主事  
瀬野尾 翔汰



振り返ってみると、平成30年は災害の年であったように思います。大阪府北部地震に始まり、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震と日本中が自然災害によって被害を受けました。

被災地では災害ボランティアセンター(以下「災害VC」)が開所され、私は、平成30年7月豪雨でみかん畑等が大きな被害を受けた、愛媛県宇和島市の災害VCへの運営支援をさせていただきました。

私は、主に受付・オリエンテーション班として被災地社協の方とボランティアの皆様のサポートや、ニーズ班として被災地のお宅を一軒一軒訪問し、被災状況を伺いながらボランティアとして手伝えることがあるかを確認させていただきました。

被災された方からは、「被災直後は元の生活に戻れないのではないかと心配していた。」「家の片付けは終わったが、みかん畑や倉庫の片付けに困っている」といった話もあり、自然災害による生活への影響を思い知らされました。

今回の災害VCでの経験を通して、災害時のみならず普段から地域の皆様に信頼していただける社協職員になれるように頑張っていこうと思いました。

被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 災害支援実績

### ■広島県広島市

派遣区分	北海道・東北ブロック職員派遣
派遣先	社会福祉法人 広島市社会福祉協議会
活動場所	広島市安芸区社会福祉協議会 安芸区災害ボランティアセンター
派遣期間	第1班：8月17日～8月23日 第2班：8月22日～8月28日 第3班：9月6日～9月12日 派遣職員：計3名

### ■愛媛県宇和島市

派遣区分	大崎市社会福祉協議会職員派遣
派遣先	社会福祉法人 宇和島市社会福祉協議会
活動場所	宇和島市社会福祉協議会 災害ボランティアセンター
派遣期間	第1班：8月19日～8月26日 第2班：8月25日～9月1日 派遣職員：計4名

### ■山形県戸沢村

支援区分	資機材提供
提供先	社会福祉法人 戸沢村社会福祉協議会
提供資機材	一輪車等13種

## 愛媛県宇和島市 社協様からのメッセージ

この度は7月に発生した西日本豪雨災害による宇和島市内での甚大な被害に対し、多大なるご支援を賜わり、心よりお礼申しあげます。皆様のご支援は、早期の復旧活動の大きな原動力となるとともに、被災された方々の復興に向けた大きな励みとなりました。

おかげさまでボランティアニーズも落ち着き、まだ細く長い活動は必要とは思っておりますが、少しずつ宇和島にまた元気が戻ってくるようで希望を感じることもできるようになっています。本当にありがとうございました。



戸沢村への資機材搬出